

基本方針1 環境教育・環境学習の推進

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
1 芦屋エコライフの普及	(1)環境学習の推進	芦屋川カレッジの中で、環境がテーマの講義の実施	芦屋川カレッジのカリキュラムの中で実施。 実施日：5月23日・8月21日 テーマ：エネルギーと環境/熱帯都市を冷やす-ヒートアイランド現象- 講師：小出裕章氏/鳴海大典氏 参加人数：198人	公民館
	(2)環境教育の推進	「住みよい芦屋をつくる」ポスター展	環境問題を啓発するため、市内の小・中学校生を対象に「ごみ問題」、「環境問題」についてポスター作品を募集し、展示した。 応募作品：199点 特選作品：4点、入選作品：22点 1 展示場所：市民センター 展示期間：11月20日～12月2日、 2月4日～11日 2 展示場所：市役所北館1階 展示期間：12月5日～10日、 2月14日～21日 【5-7-2に再掲】	環境処理センター
		施設見学（環境処理センター）	市内小中学校生及び一般市民の施設見学。 団体又は個人の事前申込みにより、「廃棄物処理と環境問題」をテーマにごみ処理の現状を説明し、ごみ焼却施設や燃やさないごみの選別場を実際に見ることで、廃棄物に対する理解を深める啓発を行った。また、環境処理センター施設見学のお知らせが広範囲にできるよう芦屋市生涯学習出前講座、兵庫県のひょうご環境学習施設ガイドブックに登録及び掲載した。 参加人数：約1,000人/年（随時実施） 【4-7-2に再掲】	
	(3)環境学習の場の保全	地区集会所使用料の減免	社会教育団体等の集会所使用料を減免した。 12ヶ所の芦屋市立地区集会所使用料の減免 年間 3,305件	市民参画課
	(4)環境情報の充実	集会所での情報の提供	集会所の掲示板を活用して、地域に情報を提供した。	市民参画課
		「芦屋市の環境」の作成	騒音、振動、大気の状態等の測定・調査結果をまとめた。 印刷部数：100部 配布先：市内小・中学校、高校、図書館等、その他関係機関	環境課
		啓発・広報活動	1 広報あしや環境特集号を新聞折込み 6月8日 2 家庭ごみハンドブックとごみ収集カレンダーを各戸配布 3月 3 市内転居者（全部入居世帯）に、家庭ごみハンドブックとごみカレンダーを配布 随時 4 「マイバックキャンペーン」を実施 6月 5 環境処理センター施設見学会を開催 随時実施 【1-5-1に再掲】	環境処理センター
		マイバックキャンペーン	芦屋市消費者協会と共催し、買物の際に買物袋を持参することで、排出される包装ごみの削減に取り組んだ。 市内の量販店にて啓発用チラシ等を配布した。 実施日：6月17日 ダイエー芦屋浜店 6月23日 スーパー大松 【1-5-1に再掲】	

基本方針1 環境教育・環境学習の推進

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
2 人と自然とのふれあいの推進	(1) 環境学習の推進	市民農園の管理・運営	市民が、土と自然にふれあい、野菜・花などを栽培しながら、作る楽しみや収穫する喜びを体験できるレクリエーションの場として、農家の協力を得て市民農園を市民に提供した。 岩園町第1市民農園：28区画 岩園町第2市民農園：35区画 六麓荘町市民農園：51区画 計 114区画 許可期間 平成19年4月1日～平成21年3月31日	経済課
		星空観察会	星空を通じて大気環境保全への意識を高めてもらうため、「芦屋星を観る会」の協力を得て実施。 1「夏の星空観察会」 実施日：8月18日 場 所：市民センター401号室 参加人数：20人 2「冬の星空観察会」 実施日：2月2日 場 所：市民センター401号室 参加人数：50人	環境課
		啓発用ビデオ等の貸出し	環境啓発用ビデオ等の貸出しを行った。 ビデオ「芦屋の自然」の貸出し	
	(2) 環境教育の推進	水道水源保全作戦	水道週間(6月1日～7日)の一環として、本市の自己水源である芦屋川の水質を守るため、取水口より上流の清掃を実施。 実施日：6月1日(金) 13:00～15:00 主 催：芦屋市水道部 11人 共 催：芦屋市水道サービス協会 1人 協 力：芦屋健康福祉事務所 1人 芦屋市水道工業協同組合 3人 芦屋カンツリー倶楽部 10人 芦屋市都市環境部 3人 合計 29人 ゴミ収集量：770kg ゴミの主な内容：タイヤ10本・ラジカセ2台・バッテリー・エアコン屋内機・乾燥機・冷蔵庫・事務用椅子・換気扇・ワープロ・あき缶等	水道管理課
			【4-6-3に再掲】	
	(3) 環境学習の場の保全	ビオトープ池の設置	生態観察、自然とのふれあいの場の提供のために、総合公園内・大榭公園内に設置。 8月26日(日)総合公園内にてビオトープ観察会を実施。参加人数：20人	公園緑地課
【2-2-2に再掲】				
(4) 環境情報の充実	「芦屋の自然」の作成	自然観察ガイドブックとして作成。 印刷部数：5,800部 配布先：市内小・中学校、図書館等、その他関係機関	環境課	
		【2-2-1に再掲】		
3 環境への負荷の低減	(4) 環境情報の充実	環境問題の啓発	環境パネル展により環境問題の啓発を行った。 実施日：6月18日(月)～6月22日(金) 場 所：市役所北館1階 内 容：地球温暖化について、こどもエコクラブの活動報告も併せて掲示	
		【3-4-2に再掲】		

基本方針1 環境教育・環境学習の推進

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
5 参画と協働の推進	(1)環境学習の推進	芦屋市生涯学習出前講座	環境に関する講座をはじめ、市政に関する様々なメニューを用意し、市民で構成する団体の要請に基づき市職員を派遣し、グループ・サークルの環境学習に対する支援を行うとともに情報の発信を行った。 【5-7-1に再掲】 実施講座数：22講座（うち環境関係1講座）	生涯学習課
		社会教育関係団体の登録	社会教育法に基づき学習活動をしているグループ(社会教育関係団体)を支援するため「芦屋市社会教育関係」団体の登録を行った。 登録団体数：406団体（うち環境関係7団体） 登録は、3年ごとに行っており、今回は、平成21年【5-7-1に再掲】が登録年。	

基本方針2 自然環境の保全

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
1 芦屋エコライフの普及	(3)人と自然とのふれあいの場の保全	松くい虫被害木伐倒駆除事業	事業内容：財産区共有地において発生した松くい虫被害木を伐倒し、被害の蔓延を防ぎ、森林としての機能を確保した。市経済課への委託事業。 期 間：11月10日～1月31日 事業規模：松くい虫伐倒駆除事業（国庫補助事業）92㎡	管財・検査課
		松くい虫被害防除事業	市内の樹木所有者が、松くい虫の被害樹木を伐採駆除等の防除事業を実施した場合、その防除事業費の一部を補助することにより被害の蔓延を防止した。 件 数：21件 本 数：145本 材 積：65.52㎡	経済課
		山まつり協賛事業	芦屋市自治環境協議会主催により、5月27日（日）に実施。 1 ごみの持帰りキャンペーン 場 所：阪急芦屋川駅前 内 容：ポイ捨て禁止啓発グッズ500セット配布 参加人数：17人 2 芦屋川クリーン作戦 ごみ収集量：合計 340kg 可燃ごみ 300kg 不燃ごみ 40kg 参加人数：55人 【4-6-3に再掲】	市民参画課 環境課
		わがまちクリーン作戦	芦屋市自治環境協議会主催で環境月間と環境衛生週間に年2回実施。各自治会を中心に、市民団体等も参加して市内一斉の美化清掃を実施。 1 「春のわがまちクリーン作戦」 実施日：6月10日（日）参加人数：2,008人 ごみ収集量：合計 6,340kg 可燃ごみ 5,720kg 不燃ごみ 620kg 2 「秋のわがまちクリーン作戦」 実施日：9月27日（木）参加人数：1,215人 ごみ収集量：合計 2,185kg 可燃ごみ 1,910kg 不燃ごみ 275kg 【4-6-3に再掲】 【5-7-1に再掲】 【1-6-3に再掲】	市民参画課 環境課
2 人と自然とのふれあいの推進	(1)自然環境の状況把握	親子自然教室	小学生とその親が野外で自然に直接触れながら、植物や動物の観察・採集・実験を行い、植生や生態系を学ぶことによって、環境保全の大切さや自然のすばらしさを親子で体験した。 場 所：芦屋市内及び近郊市町 実 施 日：5月12日、6月10日、10月13日 11月10日、12月8日、3月22日 参加人数：125人	上宮川文化センター
		水生生物調査	芦屋川に棲息する指標生物を調査し、水質の判定を行うもので、市内の小・中学校生と一緒に小学校の先生の協力を得て実施。 場 所：山手小学校・芦屋川・河原毛堰堤 実 施 日：8月7日 参加人数：10人	環境課
		芦屋川自然保護事業	「芦屋川に魚を増やそう会」主催の事業に協力。 「ホタル鑑賞会」 実 施 日：6月2日（土） 参加人数：約500人	

基本方針2 自然環境の保全

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
2 人と自然とのふれあいの推進	(1) 自然環境の状況把握	「芦屋の自然」の作成 【2-1-4に再掲】	自然観察ガイドブックとして作成。 印刷部数：5,800部 配布先：市内小・中学校，図書館等，その他関係機関	環境課
		公民館・子ども教室 「親子自然ウォッチング」	公民館・子ども教室で，夏休みを活用して，芦屋川の自然を通して環境学習を実施。 実施日：8月21日 テーマ：芦屋川の魚，昆虫，植物などの観察 参加人数：23人	公民館
	(2) 生きものの生息環境の保全	ビオトープ池の設置 【2-1-3に再掲】	生態観察，自然とのふれあいの場の提供のために，総合公園内・大榎公園内に設置。 8月26日（日）総合公園内にてビオトープ観察会を実施。参加人数：20人	公園緑地課
	(3) 人と自然とのふれあいの場の保全	ハイキングコース清掃及びごみ持帰り啓発事業	ハイキングを楽しみながら，ハイキングコース内にある可燃ごみ・不燃ごみを収集するなど六甲山の自然公園の美化活動を実施。また，阪急芦屋川でハイカーにUパック・ティッシュペーパー等を配布し，ごみの持帰りを呼びかけ，自然公園の美化啓発を実施。 (六甲山を美しくする会主催：事務局=芦屋市・西宮市・宝塚市) 1 クリーンハイキング 実施日：9月8日（土） 場所：柿谷ハイキングコース 参加人数：約350人 配布物：Uパック，リコロパック（携帯ゴミ袋），軍手 2 クリーンキャンペーン 実施日：9月22日（土） 場所：阪急芦屋川北広場 参加人数：約500人 配布物：リコロパック（携帯ゴミ袋）	経済課
	芦屋市総合公園整備事業（市債の償還）	南芦屋浜地区に花と緑のネットワークづくり及び防災の拠点並びにスポーツの核となる公園としての整備（割賦金の支払い）。全体計画面積：10ha	公園緑地課	
	南芦屋浜地区都市公園整備事業	南芦屋浜地区のまちづくり計画に伴い，都市環境の向上及び地域住民の休養，散策等の利用に供するための公園を整備した。 南緑地：用地取得 0.48ha，整備工事 0.7ha 涼風西公園：用地取得 0.25ha	公園緑地課	
	河川・海岸環境整備事業	県と市の財源により，生き物の生態系を考慮に入れて芦屋川・宮川の散在塵芥収集を年90回実施，除草を年2回実施。	下水道課	
	宮川環境整備事業	平成18年度に行ったワークショップに基づき，兵庫県に，国道43号線から汐風橋までの区間の整備を要望し，平成19年11月から12月にかけて，治水事業を主とした環境整備の工事を実施。	下水道課	

基本方針3 公害対策の推進

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
3 環境への負荷の低減	(1)公害に関する環境情報の把握	生活騒音対策	「生活環境騒音に関する指導要綱」等に基づき、苦情について随時対応し指導。	環境課
		大阪国際空港周辺公害対策	11市（豊中市、池田市、箕面市、大阪市、吹田市、尼崎市、西宮市、宝塚市、川西市、伊丹市、芦屋市）で8月22日に国土交通省他へ要望（運動方針等について）、10月5日に国土交通省へ要望（大阪国際空港の位置づけについて）。	
		環境測定・調査 アスベストの測定・調査	県が行う測定・調査に協力。潮見小学校、宮川小学校で実施。 実施月：9月、1月	
		環境測定・調査 ダイオキシンの測定・調査	県が行う測定・調査に協力。山手小学校で年4回実施。 実施月：5月、8月、11月、2月	
		環境測定・調査 有害大気汚染物質環境モニタリング	県が行う測定・調査に協力。有害大気汚染物質環境モニタリングを国道43号線で平成9年10月から毎月1回実施。 平成14年7月に打出自排局から宮川小学校へ移設。	
		大気汚染の健康に係る疫学的調査に伴う大気汚染の連続測定・調査	環境省が行う疫学調査に伴い、大気汚染等連続測定・調査に協力。 （宮川小学校、若宮町、朝日ヶ丘小学校等計5ヶ所）	
		緑ゆたかな美しいまちづくり紛争調停委員会の開催	開催案件なし。	
(2)自動車公害対策	阪神地域ノーマイカーデー啓発事業	「毎月20日はノーマイカーデー」の啓発を実施。 1 市広報紙、横断幕、庁内LAN、庁内放送、事業所への協力要請 2 保育フェスティバルの開催時や市内の幼稚園・保育所などにティッシュ・花の種を配布 配布数：2,500個（ティッシュ） 1,100個（花の種） 3 6月、12月（強化月間）にポスターを市内広報掲示板等に掲示 ポスター：100枚	環境課	
	【3-4-2に再掲】			
	国道43号線・阪神高速道路公害対策	国道43号線及び阪神高速道路3号神戸線における自動車公害対策に関して尼崎市、西宮市、芦屋市の三市で国及び関係機関へ要望。 要望日及び要望先 11月9日：環境省 11月14日：国土交通省近畿地方整備局 阪神高速道路株式会社		
	低公害車普及促進助成事業	市広報紙に助成の募集について掲載。 民間助成分：19年度は助成実績なし。 1 市保有台数 天然ガス自動車：7台 天然ガス塵芥車：7台 計14台 2 事業者への助成累計台数 天然ガス自動車：5台		
	兵庫県自動車排出窒素酸化物総量削減計画	1 自家用自動車の使用自粛 2 簡易測定による窒素酸化物濃度調査 3 公用車への低公害車の導入 4 事業者への低公害車の導入のための支援 5 低公害車普及のための広報		
環境測定・調査 自動車排出ガスの測定・調査（常時観測）	打出自排局と宮川小学校自排局で実施。			

基本方針3 公害対策の推進

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課	
3 環境への負荷の低減	(2)自動車公害対策	環境測定・調査 窒素酸化物濃度の測定・調査	国道43号線沿道等の68地点で簡易測定・調査。 測定月(年2回実施):5月,1月	環境課	
		環境測定・調査 騒音・振動の測定・調査	1 打出自排局で実施 2 国道43号線沿道における測定・調査(県市合同での測定・調査) 6月実施(精道町)		
		環境測定・調査 振動・低周波音の測定・調査	国道43号線沿道において,振動及び低周波音測定・調査を実施(9月実施)。 官民境界で測定・調査(1地点)		
		芦屋浜地区における騒音の測定・調査	芦屋浜地区における騒音の測定・調査を実施。 測定:5地点 年12回実施:4月~3月		
		大気汚染防止推進月間や地球温暖化防止月間の啓発	「大気汚染防止推進月間」,「地球温暖化防止月間」(いずれも12月)として市広報紙で対策の啓発を実施。 (啓発内容) 1 マイカーの使用自粛・アイドリング・ストップの励行 2 冷・暖房温度の見直し 3 省エネルギー・省資源への取組みなど		
		【3-4-2に再掲】			
		環境測定・調査 交通量の測定・調査	1 24時間調査 25地点 2 ノーマイカーデー調査 年2回(6月,12月) 2地点で2時間調査を実施		
		環境測定・調査 市環境測定車での測定・調査 【3-3-3に再掲】 【3-3-5に再掲】	騒音,振動,大気の測定・調査を市内13ヶ所で実施。		
		環境測定・調査 県移動観測車での測定・調査 【3-3-3に再掲】 【3-3-5に再掲】	騒音,振動,大気の測定・調査を国道2号線(1月)や市道宮川線(5月),阪神高速道路5号湾岸線(2月)で実施。 大気の測定・調査を翠ヶ丘町,西芦屋町(5月)で実施。		
		自転車等駐輪対策事業 【4-6-3に再掲】	自転車駐車場の管理業務及び放置自転車等の移送・保管。 1 市内9自転車駐車場の適正な維持・管理 2 放置禁止区域内に放置された自転車等の移送・保管(年間72回,撤去台数4,299台)	道路課	
		山手幹線街路事業 【3-3-3に再掲】	1 二層式等低騒音舗装 翠ヶ丘町 A=6,590㎡ 2 遮音壁設置(H=1~3m) 三条南町,船戸町,松ノ内町,親王塚町,翠ヶ丘町 L=722m 3 光触媒歩道舗装 三条南町,翠ヶ丘町 A=3,166㎡ 4 植樹帯設置(W=1~1.5m) 三条南町,翠ヶ丘町 L=673m	街路課	
		(3)大気汚染対策	環境測定・調査 一般環境大気の測定・調査	朝日ヶ丘小学校測定局,潮見小学校測定局,打出浜小学校測定局で実施。	環境課
		環境測定・調査 酸性雨の測定・調査	朝日ヶ丘小学校で毎月実施。		

基本方針3 公害対策の推進

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課	
3 環境への負荷の低減	(3)大気汚染対策	環境測定・調査 光化学スモッグ監視	4月から10月まで監視体制を実施。 実施期間：4月20日～10月19日	環境課	
		環境測定・調査 市環境測定車での測定・調査 【3-3-2に再掲】 【3-3-5に再掲】	騒音、振動、大気の測定・調査を市内13ヶ所で行った。		
		環境測定・調査 県移動観測車での測定・調査 【3-3-2に再掲】 【3-3-5に再掲】	騒音、振動、大気の測定・調査を国道2号線(1月)や市道宮川線(5月)、阪神高速道路5号湾岸線(2月)で行った。 大気の測定・調査を翠ヶ丘町、西芦屋町(5月)で行った。		
		山手幹線街路事業	1 二層式等低騒音舗装 翠ヶ丘町 A=6,590㎡ 2 遮音壁設置(H=1~3m) 三条南町, 船戸町, 松ノ内町, 親王塚町, 翠ヶ丘町 L=722m 3 光触媒歩道舗装 三条南町, 翠ヶ丘町 A=3,166㎡ 4 植樹帯設置(W=1~1.5m) 三条南町, 翠ヶ丘町 L=673m 【3-3-2に再掲】		街路課
		大気浄化植樹事業	精道小学校グラウンド周囲及び国道43号線隣接敷地内に大気浄化樹木5,220本,平面でグラウンド東側及び南側に高麗芝120㎡を整備した。		教委管理部 施設担当
	(4)水質汚濁対策	大阪湾環境保全対策	大阪湾クリーン作戦,大阪湾の環境保全に関する国への要望,環境の保全と創造に関する情報収集や啓発を行った。	環境課	
		特定事業所の水質調査	クリーニング店等の特定事業所10件の水質調査を実施。	下水道課	
		広域汚泥処理事業	芦屋下水処理場及び南芦屋浜下水処理場で発生した汚泥を,兵庫東スラッジ事業所へポンプにより送泥し処理した。 汚泥処理量(1%換算) 合計 154,079㎡ 芦屋下水処理場 148,721㎡ 南芦屋浜下水処理場 5,358㎡	下水処理場	
	(5)振動・騒音対策	特定建設作業実施届出の受理	騒音・振動の発生する特定建設作業を実施する場合に,届出の受理や対策の指導を行った。 届出件数:238件	環境課	
		特定施設設置届出の受理	騒音,振動の発生する施設を設置及び変更する場合に,届出を受理し,騒音,振動の未然防止を図った。 設置届出件数:(騒音)3件【法1件,条例2件】 (振動)0件 変更届出件数:(騒音)1件【法0件,条例1件】 (振動)0件		
特定工作物解体等実施届の経由		解体・改修しようとする建築物にアスベストが使用されている場合や,粉じんが発生する場合に,本市を経由する兵庫県への届出を受理し,飛散防止を図った。 実施届件数:石綿,粉じん関係3件			

基本方針3 公害対策の推進

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
3 環境への負荷の低減	(5)振動・騒音対策	環境測定・調査 市環境測定車での測定・調査 【3-3-2に再掲】 【3-3-3に再掲】	騒音，振動，大気の測定・調査を市内13ヶ所で行う。	環境課
		環境測定・調査 県移動観測車での測定・調査 【3-3-2に再掲】 【3-3-3に再掲】	騒音，振動，大気の測定・調査を国道2号線（1月）や市道宮川線（5月），阪神高速道路5号湾岸線（2月）で行う。 大気の測定・調査を翠ヶ丘町，西芦屋町（5月）で行う。	

基本方針4 地球温暖化対策の推進

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
3 環境への負荷の低減	(1)市の率優先的 取組みの推進	芦屋市環境マネジメントシステム の構築及び実施	平成19年3月1日よりISO14001に準拠した芦屋市環境マネジメントシステムを構築し実施。	環境課
		ライトダウンキャンペーン	市庁舎の市章の消灯を実施。 実施日：6月24日(日)	
	第2次芦屋市環境保全率先 実行計画の推進	温暖化防止の対策として温室効果ガスの削減に向けた行動計画を推進。「第2次芦屋市環境保全率先実行計画」を平成19年2月に策定し、平成18年度より取組みを開始。 (平成17年度を基準に平成19年度の実績) 1 温室効果ガス総排出量の削減 【目標：3%以上】 【実績：1.5%増】 2 市施設等で使用する燃料使用料の削減 【目標：2%以上】 【実績：都市ガス7.3%減】 【実績：ガソリン22.9%減】 3 電気使用料の削減 【目標：4%以上】 【実績：0.1%増】 4 水使用料の削減 【目標：2%以上】 【実績：5.0%減】 5 用紙類(コピー用紙)の使用量(購入量)の削減 【目標：10%以上】 【実績：4.8%増】 6 低公害車の導入(市公用車のうち低公害車が占める割合) 【目標：12%以上】 【実績：10.0%】 7 紙資源回収の推進(紙資源回収量) 【目標：30%以上増加】 【実績：25.4%増】		
	庁内リサイクルの推進等 【3-5-1に再掲】	平成16年4月から紙資源の分別収集を実施したことに伴い、行政回収に組入れた。	環境処理センター	
	校舎棟(管理諸室等)の照明器具の更新(省エネ器具への取替え)	従来型の器具を高効率で省エネタイプの器具に取替えを進めた。 平成19年度は、潮見幼稚園(5保育室)、打出浜小学校普通教室22CL、山手中学校18CLを更新した。また、精道中学校体育館棟照明器具として電気消費量削減照明器具(エパーライト28灯)を採用し、取付けた。	教委管理部 施設担当	
校舎公害防止工事	精道小学校において、国道43号線及び阪神高速道路からの大気汚染防止対策として、普通教室棟に引続き、管理教室・体育館・給食棟に全室空調機を取付けた。機器は、二酸化炭素を抑制することを目的にGHP方式とし、環境にクリーンなガスエンジンを稼働させ、本体が駆動に必要な電気エネルギーは、ガスエンジン可動に伴い自己発電し、全館空調とした。			

基本方針4 地球温暖化対策の推進

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
3 環境への負荷の低減	(2)参画と協働による地球温暖化対策の推進	透水性舗装	歩道におけるアスファルト舗装を用いた透水性舗装を実施。市内一円 施工面積 A = 3,004 m ²	道路課
		環境問題の啓発	環境パネル展により環境問題の啓発を行った。 実施日：6月18日(月)～6月22日(金) 場 所：市役所北館1階 内 容：地球温暖化について、こどもエコクラブの活動報告も併せて掲示 【3-1-4に再掲】	環境課
		大気汚染防止推進月間や地球温暖化防止月間の啓発	「大気汚染防止推進月間」、「地球温暖化防止月間」(いずれも12月)として市広報紙で対策の啓発を実施。 (啓発内容) 1 マイカーの使用自粛・アト・リグ・ストップの励行 2 冷・暖房温度の見直し 3 省エネルギー・省資源への取組みなど 【3-3-2に再掲】	
		阪神地域ノーマイカーデー啓発事業	「毎月20日はノーマイカーデー」の啓発を実施。 1 市広報紙, 横断幕, 庁内LAN, 庁内放送, 事業所への協力要請 2 保育フェスティバルの開催時や市内の幼稚園・保育所などにティッシュ・花の種を配布 配布数：2,500個(ティッシュ) 1,100個(花の種) 3 6月, 12月(強化月間)にポスターを市内広報掲示板等に掲示 ポスター：100枚 【3-3-2に再掲】	
		浸透樹・透水管の設置	行政指導により, 1戸当たり2ヶ所の浸透樹の設置を指導し, また500m ² 以上の土地については浸透管及び透水性舗装の設置を指導した。	下水道課
5 協働の推進と参画	(2)参画と協働による地球温暖化対策の推進	グリーンエネルギーメッセ(あしや秋まつりに参加)	兵庫県地球温暖化防止活動推進員と協力して, あしや秋まつりに参加。 JR芦屋駅前広場において, 環境パネルの展示, 環境クイズ, 電気自動車の展示・試乗などを行った。 実施日：10月7日(日)	環境課

基本方針5 循環型社会の形成

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課	
1 芦屋エコライフの普及	(1)ごみの減量化・再資源化の推進	リサイクル教室	スカート、セーター、ジーンズ、和服、ネクタイ等の古着や古切れ、食品トレー等を使って、日常生活に役立つものを作った(年3回実施)。 (芦屋市消費者協会共催) 場 所：分庁舎2階大会議室 参加人数：延べ58人 内 容： 8月24日 チラシで作る「パイナップル」 10月24日 チラシリメイク「かご」 3月20日 「ハートのバスケット」	経済課	
		家庭用品交換会及び修理会	芦屋市消費者協会に委託して実施。 1 家庭用品の交換会 食料品、衣類、雑貨品の新品のみを取扱った。価格を市価の半額以下とし、同協会が預かり販売した。 実施日：9月9日と3月16日の年2回実施 場 所：分庁舎2階大会議室 2 家庭用品修理会 靴の修理、刃物の研磨(有料)。 実施日と場所：10月22日 前田集会所前 10月24日 竹園集会所横広場		
		衣料品無料交換会	新品同等の衣類(靴、バック等を含む)及び新品の雑貨を取扱った。開催日以前に日を決めて出品の受付を行い、開催日に一斉に展示して、無料で持帰ってもらった。 実 施 日：5月20日(年1回実施) 場 所：芦屋市消費生活センター 出 品 者：91人 出 品 数：1,000点(+雑貨) 参加人数：延べ79人		
		「買物袋」持参啓発	芦屋市商工会女性部、芦屋市消費者協会が、包装の簡素化を図るため実施している「買物袋」持参運動への支援。		
		樹木リサイクル事業	芦屋市総合公園に整備したリサイクル施設を芦屋市総合公園指定管理者が運営し、チップ堆肥化を行った。		公園緑地課
		啓発・広報活動	1 広報あしや環境特集号を新聞折込み 6月8日 2 家庭ごみハンドブックとごみ収集カレンダーを各戸配布 3月 3 市内転居者(全部入居世帯)に、家庭ごみハンドブックとごみカレンダーを配布 随時 4 「マイバックキャンペーン」を実施 6月 【1-1-4に再掲】 5 環境処理センター施設見学会を開催 随時実施		環境処理センター
		フリーマーケットの開催	家庭での不用品を有効利用することを通じて、物を大切にする気持ちを育み、併せてごみの減量化や資源保護に対する市民の関心を高めるために実施。 (芦屋市商工会女性部共催) 1 場 所：ペDESTリアンデッキ 2 実 施 日：5月13日、11月11日 【5-7-1に再掲】 3 応募店数：28店(各開催日共)		

基本方針5 循環型社会の形成

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
1 芦屋エコライフの普及	(1)ごみの減量化・再資源化の推進	資源ごみ集団回収報奨金交付事業	回収活動登録団体に回収量1kgにつき、4円の報奨金を年2回(10月、4月)交付することにより、ごみ問題に対する意識の向上を図り、資源の有効利用及びごみの減量を図った。 活動団体数：146団体 回収量：4,435t 回収品目：新聞、雑誌、段ボールその他の紙類、紙パック類、古着、カン 報奨金：17,608千円 【5-7-1に再掲】	環境処理センター
		芦屋市廃棄物減量等推進審議会	学識経験者、市民、関係団体、事業者、行政が一般廃棄物の減量等に関する事項を審議する。 次の事項について、調査・審議をした。 1 一般廃棄物の減量化及び再資源化の推進に関すること 2 分別収集の実施に関すること 3 啓発活動に関すること 【5-7-1に再掲】 開催日：8月29日、3月27日	
		コンポスト購入助成事業	ごみ減量化のため、生ごみを堆肥化するコンポストを市民が購入する場合、一基につき4,000円を限度に助成(1世帯2基まで助成)。 購入数：37基(累計575基)	
		マイバックキャンペーン	芦屋市消費者協会と共催し、買物の際に買物袋を持参することで、排出される包装ごみの削減に取り組んだ。 市内の量販店にて啓発用チラシ等を配布した。 実施日：6月17日 ダイエー芦屋浜店 6月23日 スーパー大松 【1-1-4に再掲】	
		ペットボトルの収集	平成12年7月からペットボトルをリサイクルするため、分別収集を開始。 収集量：161t 再資源化量：146t リサイクル率：91%	
		再生可能な家具類の収集	自転車・家具類などリフォーム可能な資源を回収し、リフォーム後、再生品として市民への利用を促し、資源の有効利用の確保を図るため、資源を壊さないように、リフト車により、手作業で収集した。	
		再生家具類の展示・販売・利用促進	ごみ減量化、再資源化への実践及び啓発を目的に再生品の展示・販売会を実施。 1 リユースフェスタ(無料展示) 実施期間：8月31日～9月2日 展示品：家具類 120点 申込件数：238件 2 リユースフェスタ(有料展示) 実施期間：3月7日～9日 展示品：家具類 102点 申込件数：159件	
		ごみ出しマナー啓発事業	紙資源の分別収集を、引続き行政回収で実施した。 牛乳パック、ニカド電池の回収は、引続き販売店で回収した。	
		(3)グリーン購入の推進	スリム・リサイクル宣言の店運動	

基本方針5 循環型社会の形成

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
3 環境への負荷の低減	(1)ごみの減量化・再資源化の推進	収集体制の充実	粗大(大型)ごみの収集をリフト付トラックによる非破壊収集に換えることにより、廃棄物の再利用促進を図った。	環境処理センター
		粗大ごみ収集の有料化	粗大(大型)ごみの収集は、引続きリフト車による非破壊収集を行い、粗大ごみの再資源化を促進した。	
		庁内リサイクルの推進等【3-4-1に再掲】	平成16年4月から紙資源の分別収集を実施したことに伴い、行政回収に組入れた。	
	(4)不法投棄対策の推進	不法投棄防止の啓発【4-6-3に再掲】	平成13年12月、芦屋警察署等関係機関18団体で構成する「芦屋市不法投棄防止協議会」を設立。平成20年2月に同協議会を開催し、不法投棄の現状、問題点などを協議した。引続き実効性のある活動に取り組んだ。また、啓発活動も引続き行った。	環境処理センター

基本方針6 美しいまちなみの保全

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
1 芦屋エコライフの普及	(3)まちなみの美化	わがまちクリーン作戦	芦屋市自治環境協議会主催で環境月間と環境衛生週間に年2回実施。各自治会を中心に、市民団体等も参加して市内一斉の美化清掃を実施。 1 「春のわがまちクリーン作戦」 実施日：6月10日(日)参加人数：2,008人 ごみ収集量：合計 6,340kg 可燃ごみ 5,720kg 不燃ごみ 620kg 2 「秋のわがまちクリーン作戦」 実施日：9月27日(木)参加人数：1,215人 ごみ収集量：合計 2,185kg 可燃ごみ 1,910kg 不燃ごみ 275kg	市民参画課 環境課
		清潔で安全・快適な生活環境の確保に関する事務	1 歩行喫煙、夜間花火、落書き、空き缶等の投捨て、飼い犬の糞の放置・放飼いの防止の推進 2 死獣の引取り処理等動物の適正管理 3 空閑地の雑草、樹木等の適正管理	環境課
4 美しいまちなみの保全	(1)美しいまちなみの計画的な保全と創造	転落防止柵改良	転落防止柵の取替え新設等の実施。 市内一円 施工延長 L = 179m	道路課
		地区計画による住環境の保全	地区計画の区域内における行為の届出(130件)に対し、助言や指導を行うことにより良好な住環境の保全に努めた。	都市計画課
		地区計画の都市計画決定	松ノ内町地区地区計画の決定。 県の活動助成を活用し、翠ヶ丘町まちづくり協議会の活動の支援や月若町、三条南町、西芦屋町及び大原町のまちづくりの取組みに向けての勉強会やアドバイザー派遣の支援を行った。	
		まちの景観形成推進事業	大規模建築物等の届出(27件)や景観地区内の届出(84件)に対し、助言や指導を行うことにより、まちの景観形成の向上に努めた。 また、景観地区協議会を5回実施し、芦屋景観地区の指定に向けて取組みを進めた。	
		緑の基本計画の策定	緑の基本計画検討委員会を2回開催し、芦屋市環境審議会の答申を得て、芦屋市緑の基本計画を策定した。	
		遺跡環境整備	金津山古墳、朝日ヶ丘遺跡、会下山遺跡の草刈、剪定を実施し、まちなみを保全した。	生涯学習課
		文化財解説板の設置・修理	国民共有の文化遺産である文化財を、将来の地域社会に受継ぐため、文化財の解説板及び遺跡周辺を整備して、美しいまちなみの保全につなげた。 会下山遺跡周辺補修、金津山古墳解説板補修	
	(2)緑化の推進	緑化等環境保全事業	市民が生垣・壁面等の緑化を行う場合に助成を行った。 助成件数：15件 助成金額：2,691,000円	公園緑地課
		「芦屋市緑化基金」の充実	芦屋市緑化基金への寄付を受け、基金の充実を図った。 寄付件数：2件 寄付金額：40,000円	
		街路等緑化推進事業	芦屋川沿いや芦屋中央線他で枯損木の植替えを実施。	
公園施設改修事業		業平ちびっこ広場・岩園北公園・打出児童遊園・松ノ内公園・東山北公園で遊具等の補修を行った。		
県民まちなみ緑化事業		都市地域における環境改善等を目的にして、県民みずから行う緑化に対して、苗木の購入費等の補助を実施。 補助件数：4件 補助金額：8,426,250円		

基本方針6 美しいまちなみの保全

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
4 美しいまちなみの保全	(2)緑化の推進	山手幹線街路事業	道路植栽：三条南町，翠ヶ丘町 高木77本，中木14本，低木11，097本 地被類4，417鉢 緑化面積 801㎡	街路課
	(3)まちなみの美化	山まつり協賛事業	芦屋市自治環境協議会主催により，5月27日（日）に実施。 1 ごみの持ち帰りキャンペーン 場 所：阪急芦屋川駅前 内 容：ポイ捨て禁止啓発グッズ500セット配布 参加人数：17人 2 芦屋川クリーン作戦 ごみ収集量：合計 340kg 可燃ごみ 300kg 不燃ごみ 40kg 参加人数：55人 【1-2-3に再掲】	市民参画課 環境課
		わがまちクリーン作戦	芦屋市自治環境協議会主催で環境月間と環境衛生週間に年2回実施。各自治会を中心に，市民団体等も参加して市内一斉の美化清掃を実施。 1 「春のわがまちクリーン作戦」 実施日：6月10日（日）参加人数：2，008人 ごみ収集量：合計 6，340kg 可燃ごみ 5，720kg 不燃ごみ 620kg 2 「秋のわがまちクリーン作戦」 実施日：9月27日（木）参加人数：1，215人 ごみ収集量：合計 2，185kg 可燃ごみ 1，910kg 不燃ごみ 275kg 【1-2-3に再掲】 【5-7-1に再掲】 【1-6-3に再掲】	市民参画課 環境課
		自転車等駐輪対策事業	自転車駐車場の管理業務及び放置自転車等の移送・保管。 1 市内9自転車駐車場の適正な維持・管理 2 放置禁止区域内に放置された自転車等の移送・保管（年間72回，撤去台数4，299台） 【3-3-2に再掲】	道路課
		南芦屋浜地区海岸美化事業	兵庫県尼崎港管理事務所が管理する南芦屋浜地区北護岸の美化保持のために，芦屋市が，海岸内の環境整備にかかる美化事業を受託し，（財）芦屋市シルバー人材センターに清掃業務の委託を行った。 護岸清掃延長 L = 1，768m	公園緑地課
		清潔で安全・快適な生活環境の確保に関する事務	1 歩行喫煙，夜間花火，落書き，空き缶等の投捨て， 飼犬の糞の放置・放飼いの防止の推進 2 死獣の引取り処理等動物の適正管理 3 空閑地の雑草，樹木等の適正管理 【1-6-3に再掲】	環境課
		不法投棄防止の啓発	平成13年12月，芦屋警察署等関係機関18団体で構成する「芦屋市不法投棄防止協議会」を設立。平成20年2月に同協議会を開催し，不法投棄の現状，問題点などを協議した。引続き実効性のある活動に取り組んだ。 また，啓発活動も引続き行った。 【3-5-4に再掲】	環境処理センター

基本方針6 美しいまちなみの保全

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
4 美しいまちなみの保全	(3)まちなみの美化	水道水源保全作戦	水道週間(6月1日~7日)の一環として、本市の自己水源である芦屋川の水質を守るため、取水口より上流の清掃を実施。 実施日:6月1日(金) 13:00~15:00 主催:芦屋市水道部 11人 共催:芦屋市水道サービス協会 1人 協力:芦屋健康福祉事務所 1人 芦屋市水道工事業協同組合 3人 芦屋カンツリー倶楽部 10人 芦屋市都市環境部 3人 合計 29人 ゴミ収集量:770kg ゴミの主な内容:タイヤ10本・ラジカセ2台・バッテリー・エアコン屋内機・乾燥機・冷蔵庫・事務用椅子・換気扇・ワープロ・あき缶等	水道管理課
		【2-1-2に再掲】		
5 参画と協働の推進	(3)まちなみの美化	花壇植栽管理事業	1 自治会管理分2,345㎡, 呉川・打出・南宮浜・東山北・浜風東・浜風南公園等の花壇 2 芦屋市総合公園指定管理者に管理委託分453㎡, 国道43号線芦屋川橋, 国道2号線業平橋, 鳴尾御影線宮塚橋等の花壇管理を委託	公園緑地課
		公共施設等花苗配布事業	ひょうご国体を契機とし, 出先公共施設や学校・園等に花苗等を提供した。 (48団体, 2,345,699円) 実施時期:5月,9月,12月	
		「のじぎくの里」づくり事業	県花(のじぎく)の普及啓発を図るため, のじぎくの植栽を積極的に進めるため, 苗の配布を行った。 (17団体, 700本) 実施時期:4月	

基本方針7 参画と協働の推進

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
4 美しいまちなみの 保全	(2) 環境の保全・創造に向けた参画と協働の推進	施設見学（環境処理センター） 【1-1-2に再掲】	市内小学校生及び一般市民の施設見学。 団体又は個人の事前申込みにより、「廃棄物処理と環境問題」をテーマにごみ処理の現状を説明し、ごみ焼却施設や燃やさないごみの選別場を実際に見ることで、廃棄物に対する理解を深める啓発を行った。また、環境処理センター施設見学のお知らせが広範囲にできるよう芦屋市生涯学習出前講座、兵庫県のひょうご環境学習施設ガイドブックに登録及び掲載した。 参加人数：約1,000人/年（随時実施）	環境処理センター
5 参画と協働の推進	(1)各主体における環境保全活動の推進	芦屋三大まつりへの援助・協力	第19回芦屋さくらまつりの開催援助（主催：芦屋さくらまつり協議会）。 場 所：芦屋川東側沿道（大正橋～国道2号線） 内 容：コンサート、縁日、イベント等 実 施 日：4月6日、7日 参加人数：延12,000人 第29回芦屋サマーカーニバルの開催援助（主催：芦屋市民まつり協議会）。 場 所：南芦屋浜地区 内 容：花火大会、ドラゴンボートレース大会、縁日、イベント等 実 施 日：8月11日、12日 参加人数：延88,000人（花火大会） 第19回あしや秋まつりの開催援助（主催：あしや秋まつり協議会）。 場 所：JR芦屋駅北側広場、山手幹線 内 容：地車練り回し、縁日、イベント等 実 施 日：10月7日 参加人数：約7,000人	市民参画課
		わがまちクリーン作戦	芦屋市自治環境協議会主催で環境月間と環境衛生週間に年2回実施。各自治会を中心に、市民団体等も参加して市内一斉の美化清掃を実施。 1 「春のわがまちクリーン作戦」 実施日：6月10日（日）参加人数：2,008人 ごみ収集量：合計 6,340kg 可燃ごみ 5,720kg 不燃ごみ 620kg 2 「秋のわがまちクリーン作戦」 実施日：9月27日（木）参加人数：1,215人 ごみ収集量：合計 2,185kg 可燃ごみ 1,910kg 不燃ごみ 275kg 【4-6-3に再掲】 【1-6-3に再掲】 【1-2-3に再掲】	市民参画課 環境課
		フリーマーケットの開催	家庭での不用品を有効利用することを通じて、物を大切にす気持ちの育み、併せてごみの減量化や資源保護に対する市民の関心を高めるために実施。 （芦屋市商工会女性部共催） 1 場 所：ペDESTリアンデッキ 2 実 施 日：5月13日、11月11日 3 応募店数：28店（各開催日共） 【1-5-1に再掲】	環境処理センター

基本方針7 参画と協働の推進

基本目標	環境施策	事業名	事業内容及び実施時期等	所管課
5 参画と協働の推進	(1)各主体における環境保全活動の推進	資源ごみ集団回収報奨金交付事業	回収活動登録団体に回収量1kgにつき、4円の報奨金を年2回(10月、4月)交付することにより、ごみ問題に対する意識の向上を図り、資源の有効利用及びごみの減量を図った。 活動団体数：146団体 回収量：4,435t 回収品目：新聞、雑誌、段ボールその他の紙類、紙バック類、古着、カン 報奨金：17,608千円 【1-5-1に再掲】	環境処理センター
		芦屋市廃棄物減量等推進審議会	学識経験者、市民、関係団体、事業者、行政が一般廃棄物の減量等に関する事項を審議する。 次の事項について、調査審議をした。 1 一般廃棄物の減量化及び再資源化の推進に関すること 2 分別収集の実施に関すること 3 啓発活動に関すること 開催日：8月29日、3月27日 【1-5-1に再掲】	
		芦屋市生涯学習出前講座	環境に関する講座をはじめ、市政に関する様々なメニューを用意し、市民で構成する団体の要請に基づき市職員を派遣し、グループ・サークルの環境学習に対する支援を行うとともに情報の発信を行った。 実施講座数：22講座(うち環境関係1講座) 【5-1-1に再掲】	生涯学習課
		社会教育関係団体の登録	社会教育法に基づき学習活動をしているグループ(社会教育関係団体)を支援するため「芦屋市社会教育関係」団体の登録を行った。 登録団体数：406団体(うち環境関係7団体) 登録は、3年ごとに行っており、今回は、平成21年が登録年。 【5-1-1に再掲】	
	(2)環境の保全・創造に向けた参画と協働の推進	打ち水大作戦	市民参加のもと「打ち水大作戦inあしや」を実施。 日時：8月8日(水) 場所：市役所北側花壇前 参加人数：約100人	環境課
		「環境づくり推進会議」の開催	環境づくり推進事業の具体化、環境づくりに関する情報の収集及び情報の提供を行った。 年4回開催	
「住みよい芦屋をつくる」ポスター展		環境問題を啓発するため、市内の小・中学校生を対象に「ごみ問題」、「環境問題」についてポスター作品を募集し、展示した。 応募作品：199点 特選作品：4点、入選作品：22点 1 展示場所：市民センター 展示期間：11月20日～12月2日、 2月4日～11日 2 展示場所：市役所北館1階 展示期間：12月5日～10日、 2月14日～21日 【1-1-2に再掲】	環境処理センター	